

野村隈畔 野村 評論家。明治十七年八月五日福島縣生れ、大正十年十一月五日歿（二八四—一九二）。本名善共齋。農業に従事後、明治四十二年上京。獨學で語學、哲學を修め、絶対自由主義を唱へて雑誌『六合雜誌』、『第二帝國』等公論文を發表。うち哲學講習會の聽講生岡村梅子と情死。

著書『ブルグソンと現代思潮』（大正二年五月—二十一日大同館）、『自我の研究』（大正四年二月—二十一日警醒社書店）、『近代思潮叢書』（『自我を超えて』（大正六年二月—二十一日警醒社書店）、『新文化への道』（大正九年二月—二十一日日本評論社出版部）、『文化主義の研究』（大正十年六月十日大同館書店）、『現代の哲學及哲學者』（大正十一年九月五日京文社）、『文化の問題』（大正十一年五月—二十一日京文社）等。